

タイトル：全国各県の林業金額の大きさ

コンセプト：全国各県の林業に係る売上を、
グラフや表ではなく、図で直感的にわかるようにする。
これにより、どの県で林業が盛んであるかを理解できる。

利用するAPI: 地域経済分析システム(RESAS)のAPI
<https://opendata.resas-portal.go.jp/>

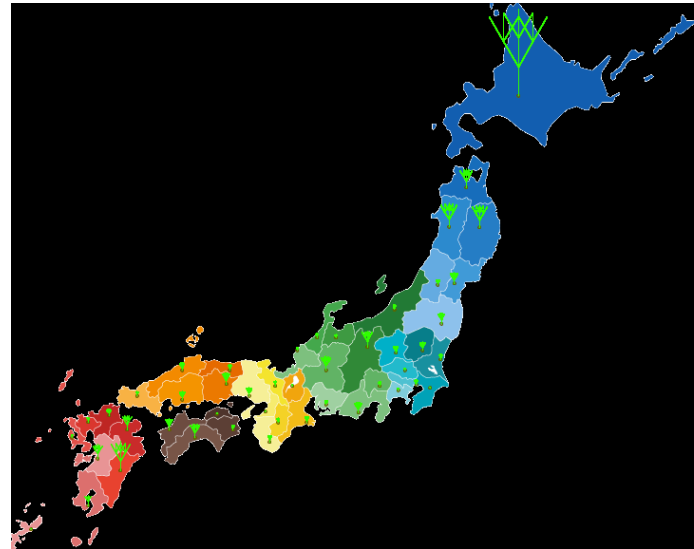
処理フロー:

①RESAS APIから、県別の林業の販売額と請負作業の売上額を取得する。

②Processingで、全国地図を描画し、県庁所在地の緯度、経度に印が着くように描画する。

③ ②の地図上の印と、フラクタルの木を置き換えて描画する。木の大きさは、①で得られた林業の販売額と請負作業の売上額に比例する。

処理の意図:データを容易に扱いやすくするために、python3で書かれたプログラムとweb APIでデータをJSON形式で取得する。描画しやすくするために、描画しやすいProcessingでデータを可視化した。



操作

- ①任意の場所で画面をクリックすると、地方毎の割合を示す円グラフが表示される。
- ②何らかのキーを押すと、リセットされる。

プログラムの動作手順:

1: APIを叩くためのpython3で書いたプログラム
ファイル名は"webAPI"

このプログラムは、<https://opendata.resas-portal.go.jp/>にアクセスし、JSONファイルを書き出す。

2: 描画するためのProcessingで書いたプログラム
ファイル名は" sketch_220621a.pde"

- (1)このプログラムは、"地図画像""を読みこみ、描画する。
- (2)このプログラムは、"県庁所在地の緯度経度情報""を読みこみ、描画する。
- (3)このプログラムは、前記JSONファイルを読み込み、木を描画する。
- (3-1)木は、売上の数字の大小によって大きさが変わる。